

Sport Policy for Japan2018

ガイダンス & 勉強会（政策講座）

2018年7月4日(水) 18:00~20:00

本日の流れ

1. Sport Policy for Japan2018 概要説明
・研究活動・審査について

<休憩>

2. 勉強会(政策講座)
3. スポーツライフ・データについて
4. 質疑応答

笹川スポーツ財団とは

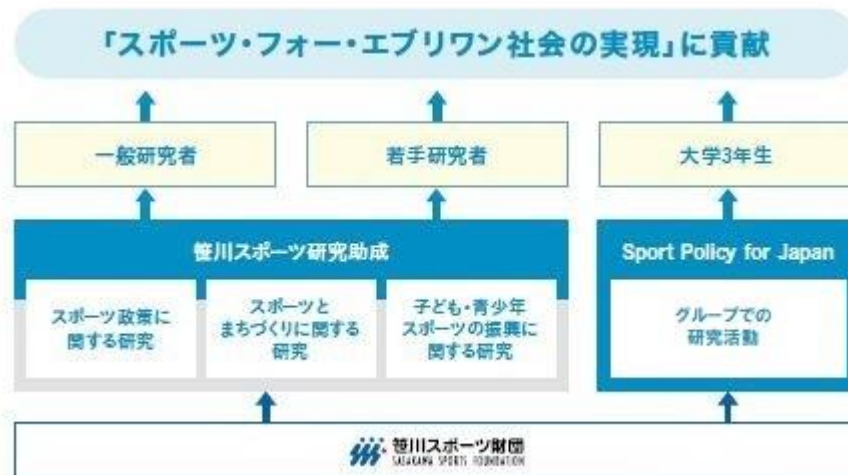
未来に夢を描き 行動するシンクタンクへ

一人ひとりの国民が生涯を通じて
それぞれが望むかたちでスポーツを楽しみ
幸福を感じられる社会

スポーツ・フォー・エブリワン
社会の実現を目指して

SPORT FOR
every
one

<Sport Policy for Japan事業>



Sport Policy for Japanとは

- ・ **日本のスポーツの現状や将来について問題意識を持つ大学3年生が、政策提言を持ち寄り、意見を交換し発表する場です。**

大会：2018年10月27日（土）～28日（日）

会場：神奈川大学 横浜キャンパス

<神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1>

会場 神奈川大学 横浜キャンパス

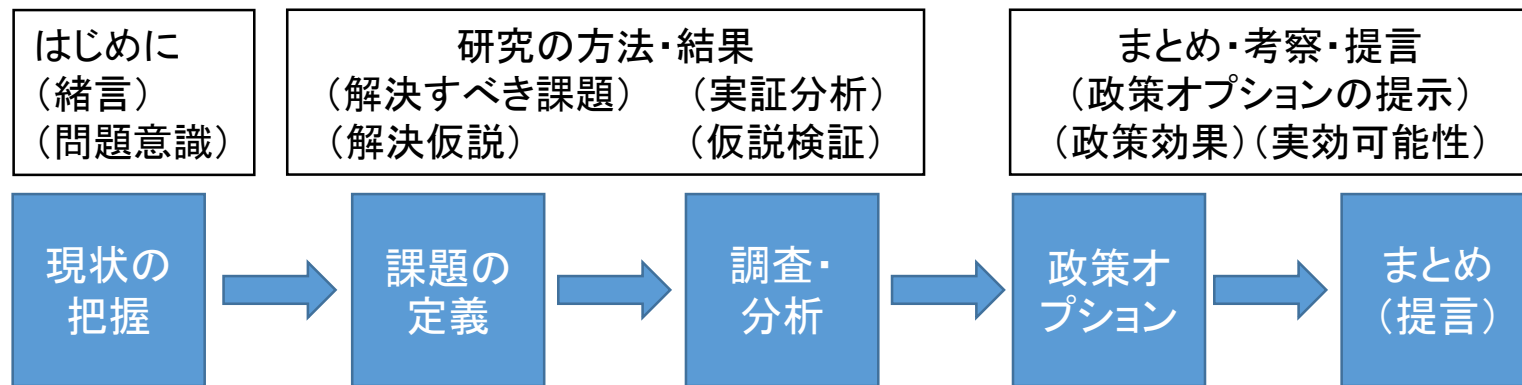


①研究活動・審査について

皆さんにご提出いただくもの

- ・ 提言要旨（A4 4枚）
- ・ 発表用スライド

提言要旨の構成



研究活動をとおして皆さんに 身につけてほしいもの

What

1. 課題をしっかりと見つけてほしい

- 「ネットを見た。誰かが言った。どっかで読んだ」問題を引いてるだけや、やりたいことから課題を探していないか？・・・それではダメ
- それは、社会で共有されるべき問題？・・・個人的な興味だけでもダメ

Why

2. 問題を引き起こしている原因はなにか、を追究する

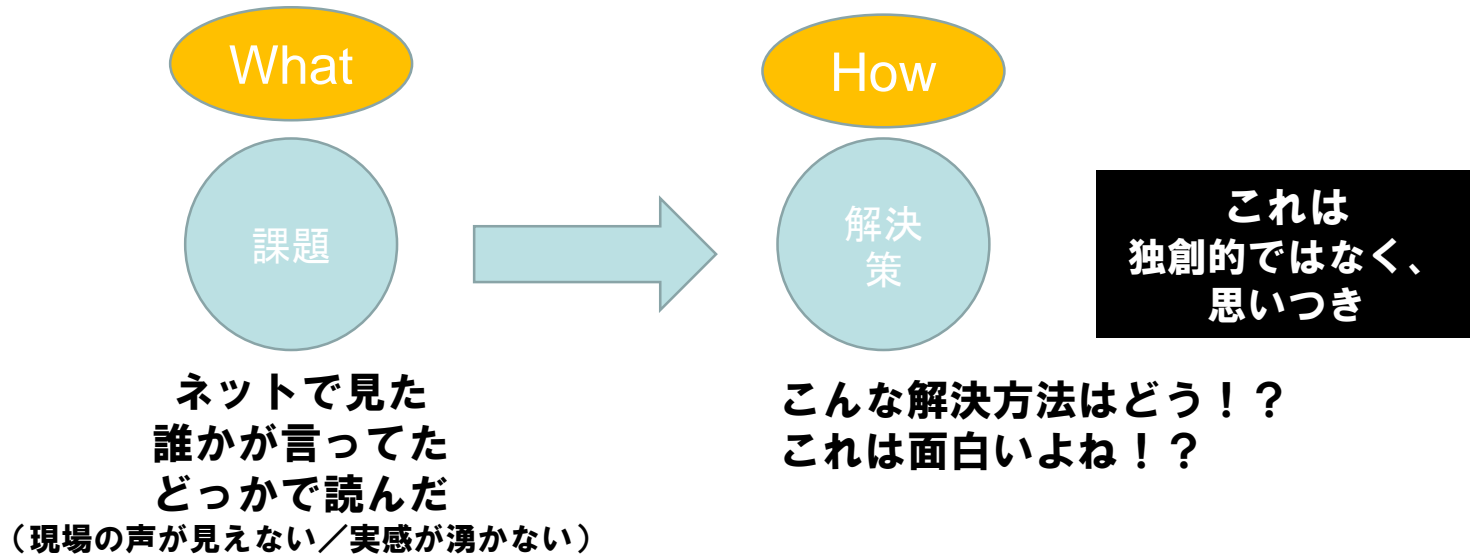
- この課題の本質は何か？ なぜそうなっているのか？の思考を繰り返す
- チームみんなで、「なぜ」「なぜ」・・・をやってみる
- 現場の声を聴く。ネットで調べただけではダメ

How

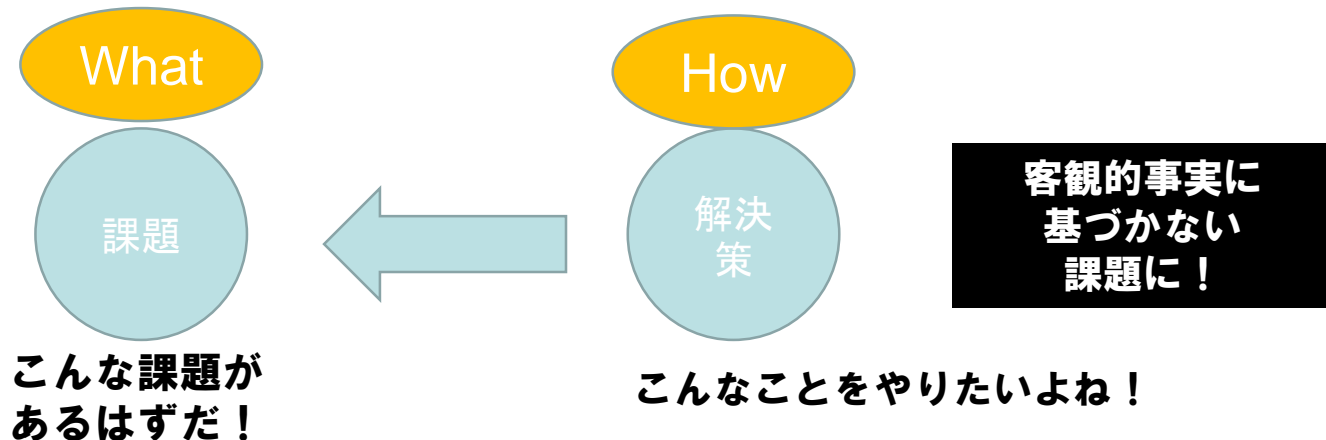
3. 具体的な解決策を提案してほしい

- みんなが考えぬいた提案は、聞く人がイメージできるように、自分たちの言葉で、具体的なものに
- 自分たちの都合を押し売りする独りよがりなものにならないように

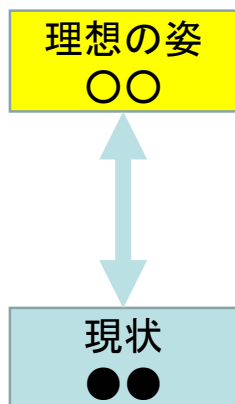
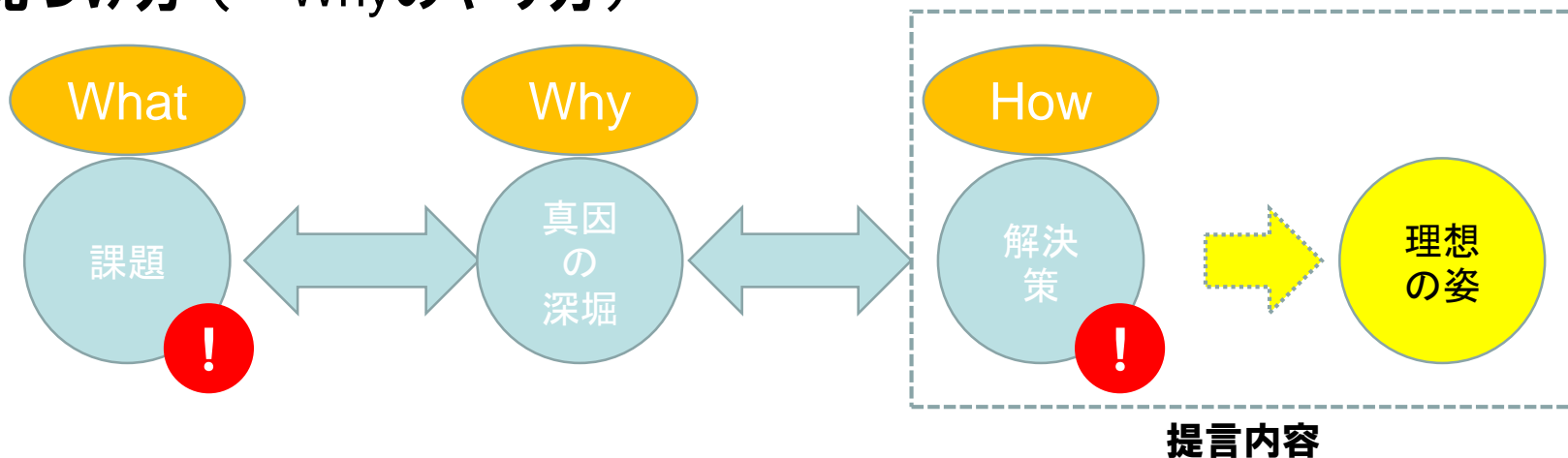
陥りやすいパターン① Whyの欠如



陥りやすいパターン② 解決策から課題を見つける



課題の見つけ方 (=Whyのやり方)



本来は○○であるべきなのに、現状は●●だ。

この理想と現実のギャップ (=◇◇) が問題だ。

◇◇はなぜ起きているのか？→それは□□だからだ

□□はなぜ？→それは△△だから

(と、原因を深掘りしていく)

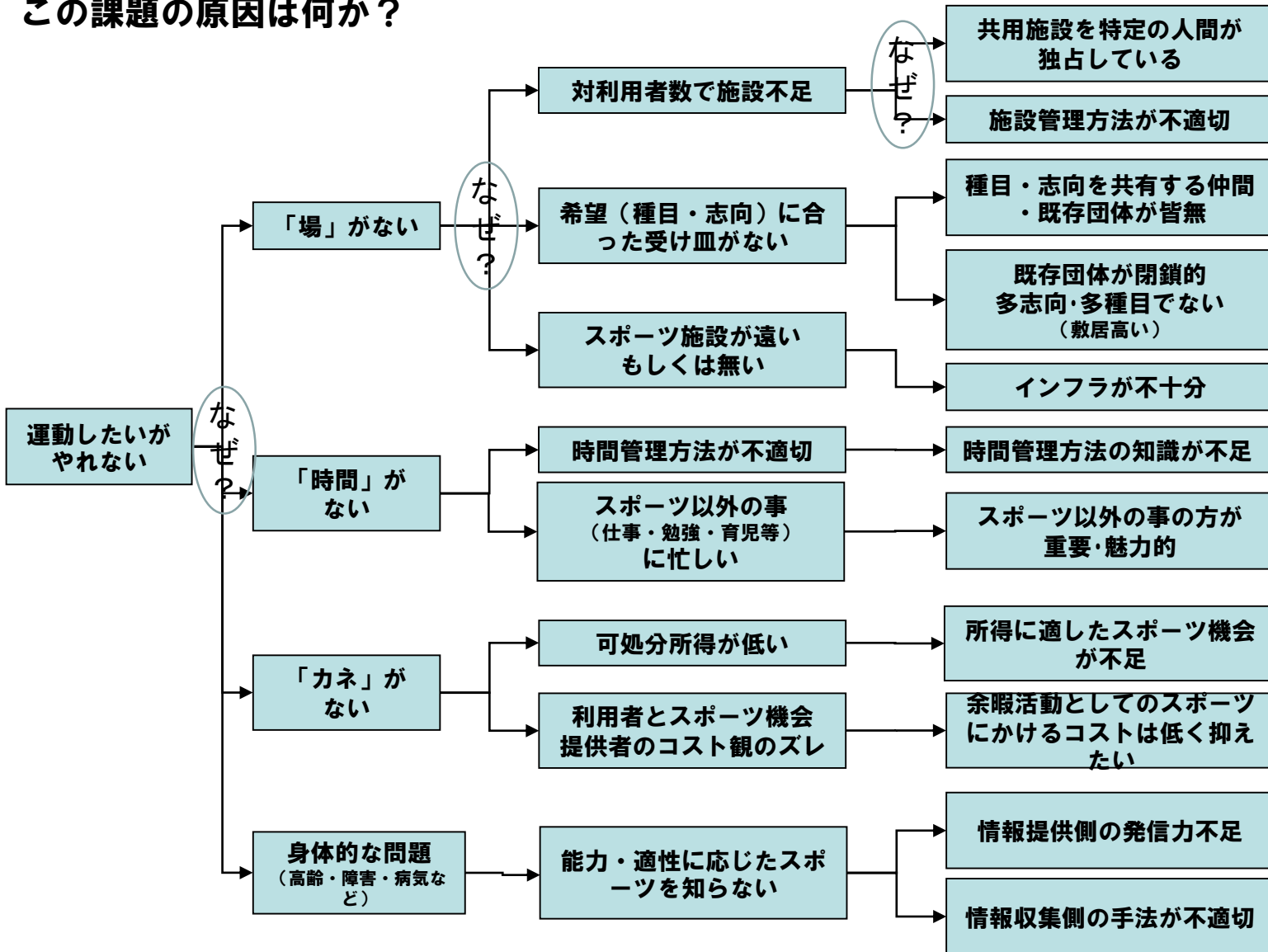
◇◇はなぜ問題なのか？→◆◆の弊害があるから

◆◆はどれだけ深刻なのか？→■ ■に影響があるから

(と、深刻さを深掘りしていく)

なぜ？なぜ？を繰り返し、最も解決すべき課題を見つける！

【例】
「スポーツをしたい」という希望には、なるべく応えられる環境をつくりたい。
しかし、「スポーツをしたいのにやれていない人」が4割もいる。
この課題の原因は何か？



じゃあ、ここをこうしてみよう！

じゃあ、ここをこうしてみよう！

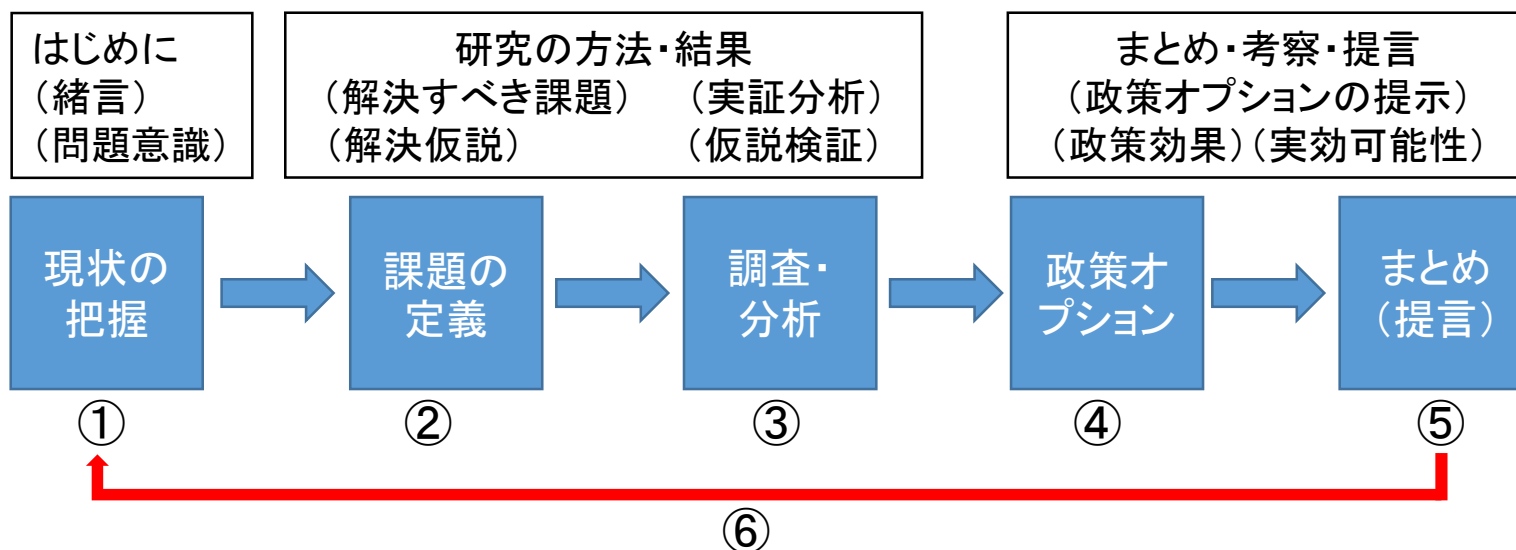
じゃあ、ここをこうしてみよう！

じゃあ、ここをこうしてみよう！

審査のポイント



Sport Policy for Japan



【審査基準】

- ① 現状を十分に把握した上で問題意識が形成されているか
- ② 課題は、スポーツにかかわる社会課題を捉えられているか
一個人や一組織の問題／興味・関心にとどまっていないか
- ③ 定義した課題に照らして適切な、あるいは解決仮説を検証するために必要な、調査及び実証分析が行われているか
- ④ 調査・研究の結果から、有効な政策オプションが導き出されているか
- ⑤ 個別事象の課題解決のみならず、普遍化や横展開の可能性が見られるか
- ⑥ 課題抽出から提言(提案)にいたるまでストーリーラインに矛盾や飛躍がないか

審査体制について

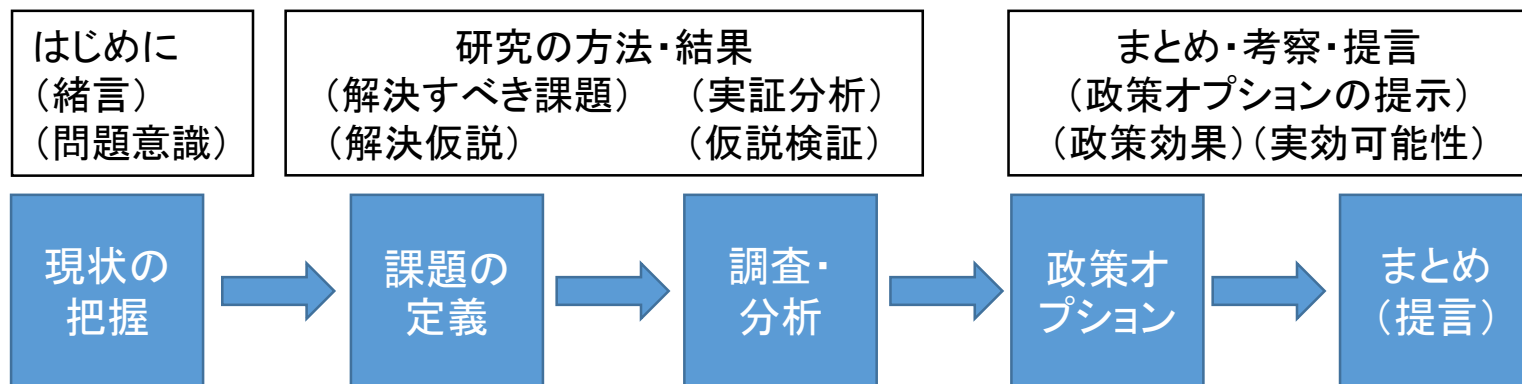
提言要旨審査員は、要旨1本に対し3名体制

口頭発表審査員は、各分科会場 2名体制

発表について

発表時間 18分
質疑応答 7分

発表資料の構成例



分科会のグループ分け

提言要旨の審査結果により、口頭発表のグループ分けを行う

あ	い	う	え	お	か
1位	2位	3位	4位	5位	6位
12位	11位	10位	9位	8位	7位
13位～60位は、ランダムにグループ分け					
13位～60位は、ランダムにグループ分け					
13位～60位は、ランダムにグループ分け					
13位～60位は、ランダムにグループ分け					
13位～60位は、ランダムにグループ分け					
13位～60位は、ランダムにグループ分け					

注：「あ～か」が「分科会場A～F」ではない

決勝プレゼン進出チーム

提言要旨と口頭発表の審査結果の合計点で、各グループ1位のチームが決勝プレゼンへ進出

あ	い	う	え	お	か
1位	2位	3位	4位	5位	6位
12位	11位	10位	9位	8位	7位

表彰について

最優秀賞・優秀賞

決勝プレゼンに進出したチームから選出
最優秀賞チーム・・・トロフィー、賞状、副賞
優秀賞チーム・・・トロフィー、賞状



特別賞 (予定/該当チーム無しもあり)

各分科会で、決勝プレゼンに進出しなかった
チームの中から選出
賞状を贈呈



当日のスケジュール（案）

1日目		教室
10:30-11:00	受付	
11:00-11:20	開会式	8号館
11:30-12:00	基調講演	8号館
12:00-13:00	昼食	
13:00-13:25	1組目	分科会場 3号館
13:35-14:00	2組目	分科会場 3号館
14:10-14:35	3組目	分科会場 3号館
14:45-15:10	4組目	分科会場 3号館
15:10-15:30	休憩	
15:30-15:55	5組目	分科会場 3号館
16:05-16:30	6組目	分科会場 3号館
16:40-17:05	7組目	分科会場 3号館
17:15-17:40	8組目	分科会場 3号館
17:50-18:15	9組目	分科会場 3号館
18:25-18:50	10組目	分科会場 3号館
19:30-20:30	懇親会	第1食堂

2日目		教室
10:00-10:05	決勝プレゼン 進出チーム発表	16号館（セレストホール）
10:30-10:55	決勝①	16号館（セレストホール）
11:05-11:30	決勝②	16号館（セレストホール）
11:40-12:05	決勝③	16号館（セレストホール）
12:05-13:05	昼食	
13:05-13:10	決勝プレゼン 進出チーム発表	16号館（セレストホール）
13:30-13:55	決勝④	16号館（セレストホール）
14:05-14:30	決勝⑤	16号館（セレストホール）
14:40-15:05	決勝⑥	16号館（セレストホール）
15:25-15:50	審査会	
16:00-16:30	表彰式	16号館（セレストホール）

提出物について①

- **研究要旨（A4 4枚）**

→ 提出締切

10月4日（木）お昼12：00まで

メールで提出（spj@ssf.or.jp）



提出物について②



- **当日発表用スライド**
→ **10月25日（木）の12：00までに、**
pdfデータ提出

勉強会の開催①

「政策のつくり方」



日時：7月4日（水）18：40～19：50

※本ガイダンス終了後

場所：日本財団 会議室AB

**講師：熊谷 哲 笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所
主席研究員**

勉強会の開催②

「スポーツライフ・データ活用」 &
「効果的なプレゼンテーションの仕方」

日時：9月29日（土）14：00～17：00

場所：神奈川大学横浜キャンパス 8号館11教室

講師：笹川スポーツ財団研究員

澤内 隆（効果的なプレゼンテーションの仕方）

- ・日本スポーツボランティアネットワーク講師
- ・東京都レクリエーション協会副会長
- ・東京コミュニティカレッジ副理事長

8月17日（金）

締め切り！

代表者が各チームメンバーの出欠を取りまとめて事務局（spj@ssf.or.jp）へ連絡

今後のスケジュール

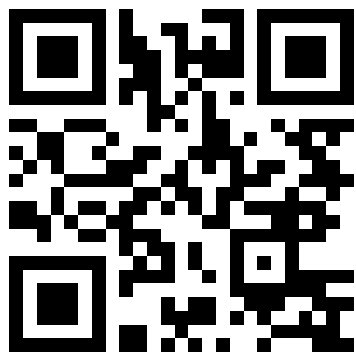


Sport Policy for Japan

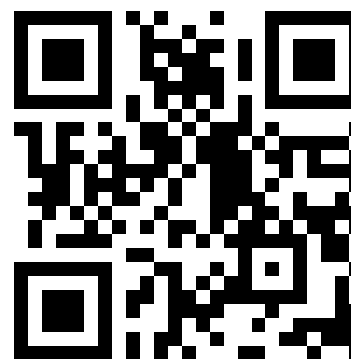
- 7月4日（水） ガイダンス & 第1回勉強会（政策講座）
 - 8月17日（金） 第2回勉強会出欠連絡締め切り
 - 9月29日（土） 第2回勉強会
（スポーツライフ・データ活用 & プレゼンテーション講座）
 - 10月4日（木） 12時 研究要旨提出
 - 10月12日（金） 分科会 グループ分け発表
 - 10月25日（木） 12時 発表PPT提出
- Sport Policy for Japan 2018 10月27日（土）～28日（日）
- 11月下旬 参加者アンケート

Sport Policy for JAPANに関する情報

代表者へのメール連絡のほか、笹川スポーツ財団の公式SNSでも情報発信していきます。また代表者の方と連携して各ゼミと研究内容の紹介も行っていきます。



https://twitter.com/ssf_pr



<https://www.facebook.com/ssf.jp>